

経営比較分析表（令和4年度決算）

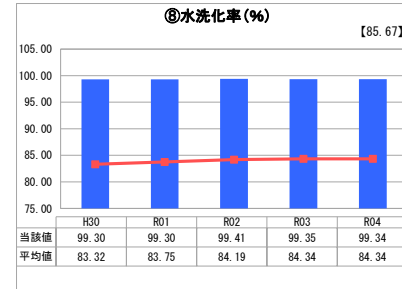
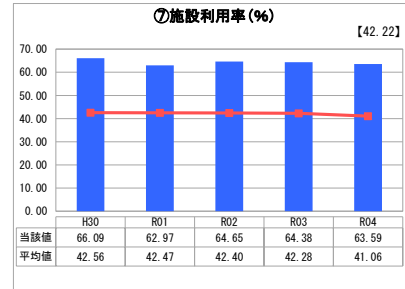
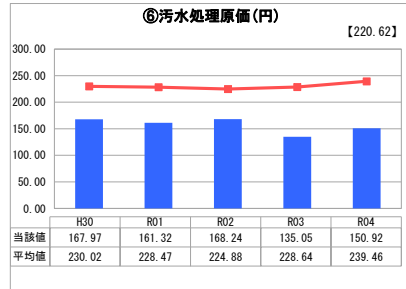
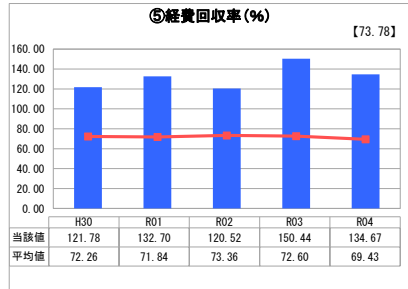
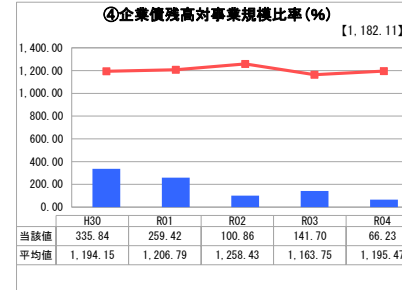
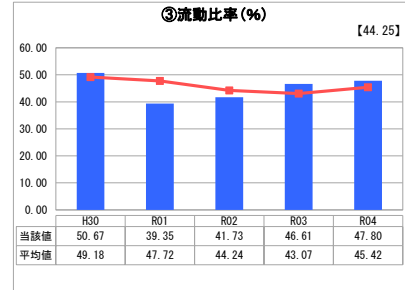
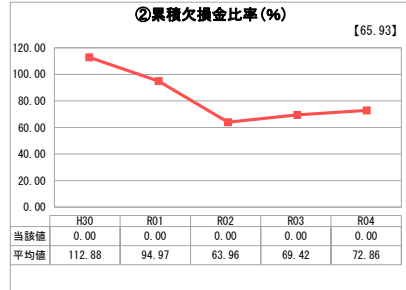
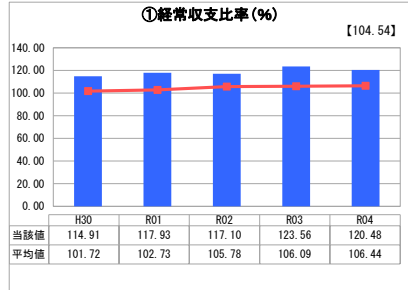
長野県 山形村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	76.72	99.72	97.09	3,960

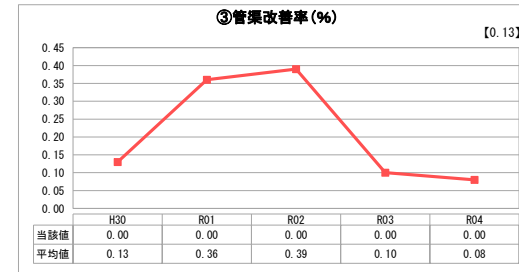
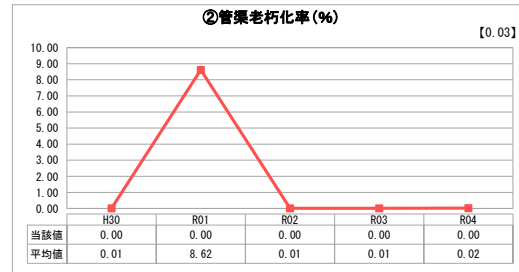
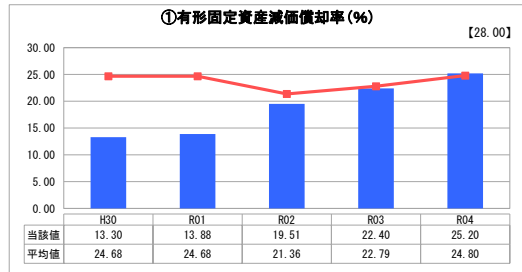
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
8,538	24.98	341.79
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
8,497	2.81	3,023.84

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①：経常収支比率は100%を越えておりますが、一般会計補助金により黒字となっている状況です。今後は人口減少により、使用料収入の減少が見込まれることから、経費削減や使用料改定等を実施して、経営健全化に努めていく必要があります。
- ②：累積欠損金は発生していません。
- ③：流動比率は、企業債の償還ピークが過ぎたことで流動負債が減少したため平均値を上回りました。
- ④：企業債残高対事業規模比率は平均値を下回っていますが、R3年度以降はストックマネジメント計画に基づき大規模改修により、起債発行を予定しているため上昇する見込みです。
- ⑤：経費回収率は100%を越えております。引き続き、費用削減や計画的な設備投資を行い、経営健全化に努めていきます。
- ⑥：汚水処理原価は、物価高騰等により汚水処理費が増加したため、昨年より上昇しました。
- ⑦：施設利用率は、平均値を上回っており近年は横ばいです。下水道普及率・接続率ともに99%以上であり、適正規模であると思われます。
- ⑧：水洗化率は99%以上で高い普及率となっています。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率・管渠老朽化率ともに類似団体平均と同程度で推移しています。管渠は、法定耐用年数内ではありますが、平成5年～平成10年の間に集中して整備され、20年後には耐用年数を超えることから、一気に増加する見込みです。ストックマネジメント計画に基づき、管渠の調査・更新を予定しています。

全体総括

平成7年度に供用開始で水洗化率は99%以上と高い普及率となっています。今後は、人口減少や節水等により、使用料収入の減少が見込まれます。一般会計補助金に依存しないために、費用削減や適正な使用料設定の検討を行い、経営健全化に努めていく必要があります。また、施設老朽化により更新工事等に多額の設備投資が必要とあることから、ストックマネジメント計画に基づき、計画的に更新工事を行い、更新の効率化・費用の平準化に努めていきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。